

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計		
機能名			
3. 1. 8 備蓄品登録			
3. 1. 8. 1 備蓄品一覧			
3. 1. 8. 2 備蓄品登録			
3. 1. 8. 3 備蓄品詳細			
3. 1. 8. 4 備蓄品修正			
3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 1/8

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 地図画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 備蓄品登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 備蓄品詳細画面より遷移する。</p> <p>1.1.4 備蓄品CSV登録画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社 支店</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.5 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織名プルダウンに設定した全ての組織に紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。</p> <p>1.2.6 ビル名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順でソートする。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。 <p>1.2.7 会社名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順でソートする。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 2/8

No.	項目名	トリガー	処理内容																								
1	1.2.8 分類1プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・ 備蓄品分類1コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”--選択してください--”を選択状態にする。 1.2.9 分類2プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・ 備蓄品分類2コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”--選択してください--”を選択状態にする。 1.2.10 数量・条件プルダウンを生成する。 ・ ”以上”、”以下”の順でソートする。 ・ 初期値として”以上”を選択状態にする。 1.2.11 保存期限切れの備蓄品情報を検索し抽出する。 1.2.11.1 検索エリアの以下の条件で、未削除の備蓄品一覧を全て抽出する。 ・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織の備蓄品情報を除く。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>会社名</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>住所</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>分類1</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>分類2</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>商品名</td><td>全件検索</td></tr><tr><td>数量</td><td>”以上”</td></tr><tr><td>保存期間</td><td>システム日付+1日</td></tr><tr><td>輸送済み</td><td>チェックOFF:無条件検索。</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>全件検索</td></tr></table> 1.2.11.2 抽出結果の判定を行う。 ・ 抽出した備蓄品一覧の件数が0件の場合： ・ 次の処理(1.2.12)へ進む。 ・ 上記以外の場合： ・ 検索エリアの保存期間入力欄に処理(1.2.11.1)で検索時に使用した保存期間をセットする。 ・ 警告通知を備蓄品詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NH0008) 「期限切れの備蓄品情報があります。確認してください。」 ・ 処理(1.2.13)へ進む。	検索項目	検索条件	組織名	完全一致検索。	ビル名	全件検索	会社名	全件検索	住所	全件検索	分類1	全件検索	分類2	全件検索	商品名	全件検索	数量	”以上”	保存期間	システム日付+1日	輸送済み	チェックOFF:無条件検索。	最終更新日時	全件検索		
検索項目	検索条件																										
組織名	完全一致検索。																										
ビル名	全件検索																										
会社名	全件検索																										
住所	全件検索																										
分類1	全件検索																										
分類2	全件検索																										
商品名	全件検索																										
数量	”以上”																										
保存期間	システム日付+1日																										
輸送済み	チェックOFF:無条件検索。																										
最終更新日時	全件検索																										

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 3/8

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	1.2.12 検索エリアの初期値の条件で、未削除の備蓄品一覧を全て抽出する。 ・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織の備蓄品情報を除く。		
	検索項目		検索条件
	組織名		完全一致検索。
	ビル名		完全一致検索。
	会社名		完全一致検索。
	住所		あいまい検索可能。
	分類1		完全一致検索。
	分類2		完全一致検索。
	商品名		あいまい検索可能。
	数量		以下の条件で検索可能。 ”以上” ”以下”
	保存期間		保存期間が指定期間内のデータを検索。
	輸送済み		以下の条件で検索可能。 チェックOFF: 無条件検索。 チェックON: 輸送済みのデータを検索。
	最終更新日時		最終更新日時が指定期間内のデータを検索。
	1.2.13 抽出した備蓄品一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。		
	1.2.14 抽出した備蓄品一覧を、備蓄品一覧エリアに表示する。 ・ 以下のソート項目で並び替えた後に初期表示する。		
ソート項目		ソート順	
組織コード		昇順	
ビルコード		昇順	
会社ID		昇順	
分類1		昇順	
分類2		昇順	
・ 初期表示は備蓄品情報タブを表示とする。 ・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。 ・ ページ遷移リンク			
1.2.15 ページ遷移リンクの設定。 ・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。 ・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 4/8

No.	項目名	トリガー	処理内容
2	検索ボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 検索ボタンを押下する。</div> <div><2.2 一覧検索処理> 2.2.1 属性チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。2.2.2 有効年月日チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の有効年月日チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。2.2.3 年月日逆転チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の年月日逆転チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。2.2.4 有効年月日時分チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。2.2.5 年月日時分逆転チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の年月日時分逆転チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。2.2.6 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除の備蓄品一覧を全て抽出する。<ul style="list-style-type: none">・検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。※組織名プルダウンに設定されていない組織の備蓄品情報を除く。</div>

検索項目	検索条件
組織名	完全一致検索。
ビル名	完全一致検索。
会社名	完全一致検索。
住所	あいまい検索可能。
分類1	完全一致検索。
分類2	完全一致検索。
商品名	あいまい検索可能。
数量	以下の条件で検索可能。 "以上" "以下"
保存期間	保存期間が指定期間内のデータを検索。
輸送済み	以下の条件で検索可能。 チェックOFF:無条件検索。 チェックON:輸送済みのデータを検索。
最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 5/8

No.	項目名	トリガー	処理内容												
2	<div>2.2.7 抽出した備蓄品一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。</div> <div>2.2.8 抽出した備蓄品一覧を、備蓄品一覧エリアに表示する。</div> <div>・以下のソート項目で並び替えした後に再表示する。</div> <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>組織コード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>ビルコード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>会社ID</td><td>昇順</td></tr><tr><td>分類1</td><td>昇順</td></tr><tr><td>分類2</td><td>昇順</td></tr></table> <div>・初期表示は備蓄品情報タブを表示とする。</div> <div>・結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。</div> <div>・ページ遷移リンク</div> <div>2.2.9 ページ遷移リンクの設定。</div> <div>・次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。</div> <div>・前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。</div>			ソート項目	ソート順	組織コード	昇順	ビルコード	昇順	会社ID	昇順	分類1	昇順	分類2	昇順
ソート項目	ソート順														
組織コード	昇順														
ビルコード	昇順														
会社ID	昇順														
分類1	昇順														
分類2	昇順														
3	クリアボタン	押下時	<div><3.1 前提条件></div> <div>3.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><3.2 クリア処理></div> <div>3.2.1 検索エリアの各項目を、初期表示時の状態に戻す。</div> <div>3.2.2 メッセージエリアを初期化する。</div>												
4	備蓄品登録画面へボタン	押下時	<div><4.1 前提条件></div> <div>4.1.1 備蓄品登録画面へボタンを押下する。</div> <div><4.2 画面遷移処理></div> <div>4.2.1 備蓄品登録画面に遷移する。</div>												
5	備蓄品CSV登録画面へボタン	押下時	<div><5.1 前提条件></div> <div>5.1.1 備蓄品CSV登録画面へボタンを押下する。</div> <div><5.2 画面遷移処理></div> <div>5.2.1 備蓄品CSV登録画面に遷移する。</div>												

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 6/8

No.	項目名	トリガー	処理内容																								
6	備蓄品CSV出力ボタン	押下時	<p><6.1 前提条件></p> <p>6.1.1 備蓄品CSV出力ボタンを押下する。</p> <p><6.2 備蓄品一覧出力処理></p> <p>6.2.1 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除の備蓄品一覧を全て抽出する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 <p>※組織名プルダウンに設定されていない組織の備蓄品情報を除く。</p> <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>住所</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>分類1</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>分類2</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>商品名</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>数量</td><td>以下の条件で検索可能。 ”以上” ”以下”</td></tr><tr><td>保存期間</td><td>保存期間が指定期間内のデータを検索。</td></tr><tr><td>輸送済み</td><td>以下の条件で検索可能。 チェックOFF:無条件検索。 チェックON:輸送済みのデータを検索。</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>最終更新日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table> <p>6.2.2 表示件数のチェック</p> <p>データの存在チェックを行う。チェック内容は【2】ファイルデータ存在チェック参照。</p> <p>6.2.3 備蓄品一覧をCSVファイルで出力する。</p> <p>[出力項目、処理の詳細]</p> <p>5. 2 ファイル設計 5. 2. 3 備蓄品CSV参照。</p> <p>[出力ファイル名]</p> <p>「備蓄品情報_xxxx_yyyymmddhhmmss.csv」</p> <p>(※xxxxには処理ユーザIDを設定)</p> <p>(※yyymmddhhmmssには、システム日付、時分秒を設定)</p> <p>[出力ソート順]</p> <p>出力ソート順は表示中の一覧の順序に準じる。</p>	検索項目	検索条件	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	住所	あいまい検索可能。	分類1	完全一致検索。	分類2	完全一致検索。	商品名	あいまい検索可能。	数量	以下の条件で検索可能。 ”以上” ”以下”	保存期間	保存期間が指定期間内のデータを検索。	輸送済み	以下の条件で検索可能。 チェックOFF:無条件検索。 チェックON:輸送済みのデータを検索。	最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。
検索項目	検索条件																										
組織名	完全一致検索。																										
ビル名	完全一致検索。																										
会社名	完全一致検索。																										
住所	あいまい検索可能。																										
分類1	完全一致検索。																										
分類2	完全一致検索。																										
商品名	あいまい検索可能。																										
数量	以下の条件で検索可能。 ”以上” ”以下”																										
保存期間	保存期間が指定期間内のデータを検索。																										
輸送済み	以下の条件で検索可能。 チェックOFF:無条件検索。 チェックON:輸送済みのデータを検索。																										
最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。																										

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 7/8

No.	項目名	トリガー	処理内容										
7	一覧行選択リンク	クリック時	<div><7.1 前提条件> 7.1.1 備蓄品一覧の行にカーソルを合わせ、行をクリックする。</div> <div><7.2 画面遷移処理> 7.2.1 指定された行の備蓄品情報の備蓄品詳細画面へ遷移する。</div>										
8	一覧表示件数切替	変更時	<div><8.1 前提条件> 8.1.1 一覧表示件数を別の値に変更する。</div> <div><8.2 備蓄品一覧更新処理> 8.2.1 指定した表示件数をもとに、表示中の備蓄品一覧を再表示する。</div>										
9	ページ遷移リンク	クリック時	<div><9.1 前提条件> 9.1.1 前ページ遷移リンクをクリックする。 9.1.2 次ページ遷移リンクをクリックする。</div> <div><9.2 備蓄品一覧更新処理> 9.2.1 表示中の備蓄品一覧について、遷移先ページの内容に更新する。 9.2.2 次ページがある場合は、次ページのリンクを設定、 前ページがある場合は、前ページのリンクを設定する。</div>										
10	ソートリンク	クリック時	<div><10.1 前提条件> 10.1.1 各ソートリンクをクリックする。</div> <div><10.2 備蓄品一覧更新処理> 10.2.1 表示中の一覧について、ソート順を変更後再表示する。<div><div>・ 備蓄品情報タブ<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソートキーの属性</th></tr><tr><td>数量</td><td>数字</td></tr><tr><td>保存期間</td><td>年月日</td></tr></table></div><div>・ 補足情報タブ<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソートキーの属性</th></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>年月日時分</td></tr></table></div></div></div>	ソート項目	ソートキーの属性	数量	数字	保存期間	年月日	ソート項目	ソートキーの属性	最終更新日時	年月日時分
ソート項目	ソートキーの属性												
数量	数字												
保存期間	年月日												
ソート項目	ソートキーの属性												
最終更新日時	年月日時分												
11	一覧タブ遷移リンク	クリック時	<div><11.1 前提条件> 11.1.1 備蓄品情報遷移リンクまたは、補足情報遷移リンクをクリックする。</div> <div><11.2 備蓄品一覧更新処理> 11.2.1 表示中の備蓄品一覧について、遷移先タブの内容に更新する。</div>										

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【1】イベント 8/8

No.	項目名	トリガー	
処理内容			
12	地図に戻るボタン	クリック時	
<12.1 前提条件> 12.1.1 地図に戻るボタンを押す。			
<12.2 戻る処理> 12.2.1 地図画面に戻る。			
13	前に戻るボタン	クリック時	
<13.1 前提条件> 13.1.1 前に戻るボタンを押す。			
<13.2 戻る処理> 13.2.1 前画面に戻る。			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 1 備蓄品一覧

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※3)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
2	属性チェック (数字)	”数字”項目(※4)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
3	有効年月日チェック	保存期間(開始)が、日付として有効であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0010	メッセージエリア
		保存期間(終了)が、日付として有効であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0010	メッセージエリア
4	年月日逆転チェック	保存期間(開始) <= 保存期間(終了)。		
		上記条件を満たさない。	EA0016	メッセージエリア
5	有効年月日時分 チェック	最終更新日時(開始)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
		最終更新日時(終了)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
6	年月日時分逆転 チェック	最終更新日時(開始) <= 最終更新日時(終了)。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0015	メッセージエリア
7	ファイルデータ存在 チェック	表示件数が1件以上の場合		
		上記条件を満たさない。	EH0001	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 ”全半角”項目

項目名	トリガー
住所	(検索ボタン押下)
商品名	

※4 ”数字”項目

項目名	トリガー
数量	(検索ボタン押下)

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【1】イベント 1/6

No.	項目名	トリガー	処理内容																		
1	—	初期表示	<p>＜1.1 前提条件＞</p> <p>1.1.1 備蓄品一覧画面より遷移する。</p> <p>＜1.2 初期処理＞</p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.5 ビル名プルダウンを、組織名プルダウンの設定状況に従って生成する。</p> <table><tr><th>組織名プルダウン</th><th>ビル名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>選択可能な組織名が複数</td><td><ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr><tr><td>選択可能な組織名が単一</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.6 会社名プルダウンを、組織名プルダウンの設定状況に従って生成する。</p> <table><tr><th>組織名プルダウン</th><th>会社名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>選択可能な組織名が複数</td><td><ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr><tr><td>選択可能な組織名が単一</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr></table>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	組織名プルダウン	ビル名プルダウン生成内容	選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。	選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。	組織名プルダウン	会社名プルダウン生成内容	選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。	選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容																				
本社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。																				
支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。																				
組織名プルダウン	ビル名プルダウン生成内容																				
選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。																				
選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。																				
組織名プルダウン	会社名プルダウン生成内容																				
選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・ “―選択してください―”のみを設定する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。																				
選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順で表示する。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。																				

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【1】イベント 2/6

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	1.2.7 分類1プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・ 備蓄品分類1コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 1.2.8 分類2プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・ 備蓄品分類2コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 1.2.9 単位プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・ 備蓄品単位コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”個”を選択状態にする。 1.2.11 備蓄品一覧エリアのタイトルのみを表示する。		
2	クリアボタン	押下時	<p><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</p> <p><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力(プルダウン、ラジオボタン含む)、出力項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 備蓄品一覧エリアを全てクリアして、タイトルのみを表示する。 2.2.4 備蓄品一覧エリアの情報を修正中であった場合は、修正中認識を解除する。 2.2.5 メッセージエリアを初期化する。</p>
3	組織名プルダウン	選択時	<p><3.1 前提条件> 3.1.1 組織名プルダウンの組織名を選択(変更)する。</p> <p><3.2 ビル名プルダウン絞り込み処理> 3.2.1 組織名プルダウンにて指定された、組織名に該当する組織コードを取得する。 3.2.2 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コードに紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。 3.2.3 ビル名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から再生成する。 ・ ビルコードが重複するデータは除外する。 ・ ビルコードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 3.2.4 会社名プルダウンを初期化する。 ・ ”―選択してください―”のみを設定する。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 3.2.5 住所をクリアする。 3.2.6 備蓄品一覧エリアを全てクリアして、タイトルのみを表示する。 3.2.7 備蓄品一覧エリアの情報を修正中であった場合は、修正中認識を解除する。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【1】イベント 3/6

No.	項目名	トリガー	処理内容				
4	ビル名プルダウン	選択時	<div><4.1 前提条件> 4.1.1 ビル名プルダウンのビル名を選択(変更)する。</div> <div><3.2 住所／備蓄品一覧エリア表示処理> 4.2.1 組織名プルダウンにて指定された、組織名に該当する組織コードを取得する。 4.2.2 ビル名プルダウンにて指定された、ビル名に該当するビルコードを取得する。 4.2.3 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコードに紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。 4.2.4 会社名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から再生成する。 ・会社IDが重複するデータは除外する。 ・会社IDの昇順でソートする。 ・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 4.2.5 住所をクリアする。 4.2.6 備蓄品一覧エリアを全てクリアして、タイトルのみを表示する。 4.2.7 備蓄品一覧エリアの情報を修正中であった場合は、修正中認識を解除する。</div>				
5	会社名プルダウン	選択時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 会社名プルダウンの会社名を選択(変更)する。</div> <div><5.2 住所／備蓄品一覧エリア表示処理> 5.2.1 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。 5.2.2 抽出したビルデータ情報の住所を、備蓄品登録エリアの住所に表示する。 5.2.3 DBに登録された未削除の備蓄品情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、備蓄品情報を全て抽出する。 5.2.4 抽出した備蓄品情報を、備蓄品一覧エリアに全て表示する。 ・以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>降順</td></tr></table> ・抽出した行には”複写ボタン”を表示する。 ・結果がゼロ件の場合、備蓄品一覧エリアのタイトルのみを表示する。 4.2.5 備蓄品一覧エリアの情報を修正中であった場合は、修正中認識を解除する。</div>	ソート項目	ソート順	最終更新日時	降順
ソート項目	ソート順						
最終更新日時	降順						

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計			
機能名			
3. 1. 8 備蓄品登録			
画面名 3. 1. 8. 2 備蓄品登録			
【1】イベント 4/6			
No.	項目名	トリガー	処理内容
6	分類1プルダウン	選択時	<p><5.1 前提条件> 5.1.1 分類1プルダウンの備蓄品分類を選択(変更)する。</p> <p><5.2 分類2プルダウン初期化处理> 5.2.1 分類1プルダウンにて指定された、備蓄品分類に該当する備蓄品分類1コードを取得する。 5.2.2 備蓄品分類1コードに紐づく、備蓄品分類2情報を抽出する。 5.2.3 分類2プルダウンを、抽出した備蓄品分類2情報から再生成する。 ・ 備蓄品分類1コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。</p>
7	備蓄品の追加ボタン	押下時	<p><7.1 前提条件> 7.1.1 備蓄品の追加ボタンを押下する。</p> <p><7.2 備蓄品一覧エリア追加処理> 7.2.1 必須入力チェック ・ チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 7.2.2 属性チェック ・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 7.2.3 有効年月日チェック ・ チェック内容は、【2】の有効年月日チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 7.2.4 登録上限チェック ・ チェック内容は、【2】の登録上限チェックを参照。 7.2.5 一覧の先頭行に入力値を挿入する。 ・ 追加した行には”複写ボタン”/”修正ボタン”/”削除ボタン”を表示する。 但し、修正の場合は挿入は行わず一覧の該当行を入力値で上書きする。 7.2.6 以下の項目を除くすべての入力/出力項目を初期表示時の状態に戻す。 ・ 組織名(入力項目) ・ ビル名(入力項目) ・ 会社名(入力項目) ・ 住所(出力項目) 7.2.7 メッセージエリアを初期化する。</p>
8	複写ボタン	クリック時	<p><8.1 前提条件> 8.1.1 備蓄品一覧エリアの複写ボタンを押す。</p> <p><8.2 一覧複写処理> 8.2.1 当ボタンがある行の各値を、備蓄品登録エリアの各項目に表示する。</p>

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【1】イベント 5/6

No.	項目名	トリガー	処理内容
9	修正ボタン	クリック時	<p><9.1 前提条件> 9.1.1 備蓄品一覧エリアの修正ボタンを押す。</p> <p><9.2 一覧修正処理> 9.2.1 当ボタンがある行の各値を、備蓄品登録エリアの各項目に表示する。</p>
10	削除ボタン	クリック時	<p><10.1 前提条件> 10.1.1 備蓄品一覧エリアの削除ボタンを押す。</p> <p><10.2 一覧削除処理> 10.2.1 当ボタンがある行の各値を、削除する。</p>
11	登録ボタン	押下時	<p><11.1 前提条件> 11.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><11.2 登録確定処理> 11.2.1 確認ダイアログを表示する。(NH0001) 「備蓄品情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(11.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 11.2.2 必須入力チェック ・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 11.2.3 文字数チェック ・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。 11.2.4 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。 11.2.5 有効年月日チェック ・チェック内容は、【2】の有効年月日チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。 11.2.6 件数0件チェック ・チェック内容は、【2】の件数0件チェックを参照。 11.2.7 登録上限チェック ・チェック内容は、【2】の登録上限チェックを参照。 11.2.8 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 11.2.9 入力内容(追加された情報のみ)をDBに登録する。 11.2.10 完了を備蓄品詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 11.2.11 備蓄品詳細画面に遷移する。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【1】イベント 6/6

No.	項目名	トリガー	
処理内容			
12	地図に戻るボタン	クリック時	
<12.1 前提条件>			
12.1.1 地図に戻るボタンを押す。			
<12.2 戻る処理>			
12.2.1 地図画面に戻る。			
13	前に戻るボタン	クリック時	
<13.1 前提条件>			
13.1.1 前に戻るボタンを押す。			
<13.2 戻る処理>			
13.2.1 前画面に戻る。			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 2 備蓄品登録

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	文字数チェック	テキストエリア入力項目(※4)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0018	メッセージエリア
3	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※5)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
4	属性チェック (数字)	”数字”項目(※6)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
5	有効年月日チェック	保存期間が、日付として有効であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0010	メッセージエリア
6	件数0件チェック	今回追加後の備蓄品一覧エリアの行数(ヘッダ除く)が、1行以上であること。		
		上記条件を満たさない。	EH0002	メッセージエリア
7	登録上限チェック	今回追加後の備蓄品一覧エリアの行数(ヘッダ除く)が、100行以下(※パラメータ値)であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0017	メッセージエリア
8	排他チェック	下記の条件をすべて満たしていること。 ・表示中の備蓄品一覧情報が最新であること。 ※今回新規に登録する行を除く。 ・同じ組織コード/ビルコード/会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	備蓄品一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名	災対用ビル別情報マップ																								
章番号	第3章 機能設計																								
機能名																									
3. 1. 8 備蓄品登録																									
画面名	3. 1. 8. 2 備蓄品登録																								
<p>【2】チェック処理 2/2</p> <p>※3 必須項目</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>トリガー</th> </tr> <tr> <td>組織名</td> <td rowspan="6">(登録ボタン押下)</td> </tr> <tr> <td>ビル名</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> </tr> <tr> <td>分類1</td> </tr> <tr> <td>分類2</td> </tr> <tr> <td>数量</td> </tr> </table> <p>※4 "テキストエリア入力"項目</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>トリガー</th> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>(登録ボタン押下)</td> </tr> </table> <p>※5 "全半角"項目</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>トリガー</th> </tr> <tr> <td>商品名</td> <td rowspan="2">(登録ボタン押下)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> </tr> </table> <p>※6 "数字"項目</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>トリガー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>(登録ボタン押下)</td> </tr> </table>				項目名	トリガー	組織名	(登録ボタン押下)	ビル名	会社名	分類1	分類2	数量	項目名	トリガー	備考	(登録ボタン押下)	項目名	トリガー	商品名	(登録ボタン押下)	備考	項目名	トリガー	数量	(登録ボタン押下)
項目名	トリガー																								
組織名	(登録ボタン押下)																								
ビル名																									
会社名																									
分類1																									
分類2																									
数量																									
項目名	トリガー																								
備考	(登録ボタン押下)																								
項目名	トリガー																								
商品名	(登録ボタン押下)																								
備考																									
項目名	トリガー																								
数量	(登録ボタン押下)																								

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 3 備蓄品詳細

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容																		
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 備蓄品一覧画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 備蓄品登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 備蓄品修正画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.2 前画面にて指定された組織コード／ビルコード／会社IDから、紐づく未削除の備蓄品情報を全て抽出する。</p> <p>1.2.3 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。</p> <p>1.2.4 修正ボタン、削除ボタンの表示／非表示の切り替えを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って行う。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>ボタンの表示／非表示</th></tr><tr><td>本社</td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td>支店</td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致する場合：</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td></td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致しない場合：</td></tr><tr><td></td><td>・ 非表示にする。</td></tr></table> <p>1.2.5 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。</p> <p>1.2.6 抽出したビルデータ情報を、ビルデータ詳細エリアに表示する。</p> <p>1.2.7 抽出した備蓄品情報を、備蓄品一覧エリアに全て表示する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。 <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>備蓄品分類1コード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>備蓄品分類2コード</td><td>昇順</td></tr></table>	ユーザレベル	ボタンの表示／非表示	本社	・ 表示する。	支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致する場合：	グループ会社	・ 表示する。		・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致しない場合：		・ 非表示にする。	ソート項目	ソート順	備蓄品分類1コード	昇順	備蓄品分類2コード	昇順
ユーザレベル	ボタンの表示／非表示																				
本社	・ 表示する。																				
支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致する場合：																				
グループ会社	・ 表示する。																				
	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出した備蓄品情報の組織コードが一致しない場合：																				
	・ 非表示にする。																				
ソート項目	ソート順																				
備蓄品分類1コード	昇順																				
備蓄品分類2コード	昇順																				
2	修正ボタン	クリック時	<p><2.1 前提条件></p> <p>2.1.1 修正ボタンを押下する。</p> <p><2.2 画面遷移処理></p> <p>2.2.1 指定した備蓄品情報の備蓄品修正画面へ遷移する。</p>																		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 3 備蓄品詳細

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	
			処理内容
3	削除ボタン	クリック時	
	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 削除ボタンを押下する。</p> <p><3.2 削除確定処理></p> <p>3.2.1 確認ダイアログを表示する。(NH0003)</p> <p>「備蓄品情報を削除します。よろしいですか？」OK・キャンセル</p> <p>OK押下：次の処理(3.2.2)へ進む。</p> <p>キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>3.2.2 排他チェック</p> <p>・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。</p> <p>3.2.3 削除更新処理を行う。</p> <p>3.2.4 完了を備蓄品一覧画面のメッセージエリアに表示する。(NH0004)</p> <p>「備蓄品情報を削除しました。」</p> <p>3.2.5 備蓄品一覧画面に遷移する。</p>		
4	地図に戻るボタン	クリック時	
	<p><4.1 前提条件></p> <p>4.1.1 地図に戻るボタンを押す。</p> <p><4.2 戻る処理></p> <p>4.2.1 地図画面に戻る。</p>		
5	前に戻るボタン	クリック時	
	<p><5.1 前提条件></p> <p>5.1.1 前に戻るボタンを押す。</p> <p><5.2 戻る処理></p> <p>5.2.1 前画面に戻る。</p>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 3 備蓄品詳細

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	排他チェック	表示中の備蓄一覧情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	備蓄品一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 4 備蓄品修正

【1】イベント 1/4

No.	項目名	トリガー	処理内容				
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 備蓄品詳細画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。 ・ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 1.2.4 前画面にて指定された、組織コード／ビルコード／会社IDから、紐づく未削除の備蓄品情報を全て抽出する。 1.2.5 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。 1.2.6 分類1プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・備蓄品分類1コードの昇順でソートする。 ・初期値として”--選択してください--”を選択状態にする。 1.2.7 分類2プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・備蓄品分類2コードの昇順でソートする。 ・初期値として”--選択してください--”を選択状態にする。 1.2.8 単位プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。 ・備蓄品単位コードの昇順でソートする。 ・初期値として”個”を選択状態にする。 1.2.9 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.10 抽出したビルデータ情報の組織名／ビル名／会社名／住所を、備蓄品修正エリアのビル情報欄に表示する。 1.2.11 抽出した備蓄品情報を、備蓄品一覧エリアに全て表示する。 ・以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>降順</td></tr></table> ・抽出した行には”複写ボタン”／”修正ボタン”／”削除ボタン”を表示する。</div>	ソート項目	ソート順	最終更新日時	降順
ソート項目	ソート順						
最終更新日時	降順						
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力(プルダウン、チェックボックス含む)項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 備蓄品一覧エリアの情報を修正中であった場合は、修正内容を破棄する。 2.2.4 メッセージエリアを初期化する。</div>				

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計			
機能名			
3. 1. 8 備蓄品登録			
画面名 3. 1. 8. 4 備蓄品修正			
【1】イベント 2/4			
No.	項目名	トリガー	処理内容
3	分類1プルダウン	選択時	<p>＜3.1 前提条件＞</p> <p>3.1.1 分類1プルダウンの備蓄品分類を選択(変更)する。</p> <p>＜3.2 分類2プルダウン初期化处理＞</p> <p>3.2.1 分類1プルダウンにて指定された、分類に該当する、備蓄品分類1コードを取得する。</p> <p>3.2.2 備蓄品分類1コードに紐づく、備蓄品分類2情報を抽出する。</p> <p>3.2.3 分類2プルダウンを、抽出した備蓄品分類2情報から再生成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄品分類1コードの昇順でソートする。 ・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。
4	備蓄品の追加ボタン	押下時	<p>＜4.1 前提条件＞</p> <p>4.1.1 備蓄品の追加ボタンを押下する。</p> <p>＜4.2 備蓄品一覧エリア追加処理＞</p> <p>4.2.1 必須入力チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 <p>4.2.2 属性チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 <p>4.2.3 有効年月日チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェック内容は、【2】の有効年月日チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 <p>4.2.4 登録上限チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェック内容は、【2】の登録上限チェックを参照。 <p>4.2.5 (追加の場合)一覧の先頭行に入力値を挿入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追加した行には”複写ボタン”、”修正ボタン”、”削除ボタン”を表示する。 <p>4.2.6 (修正の場合)一覧の該当行を入力値で上書きする。</p> <p>4.2.7 入力項目を初期表示時の状態に戻す。</p> <p>4.2.8 メッセージエリアを初期化する。</p>
5	複写ボタン	クリック時	<p>＜5.1 前提条件＞</p> <p>5.1.1 備蓄品一覧エリアの複写ボタンを押す。</p> <p>＜5.2 一覧複写処理＞</p> <p>5.2.1 当ボタンがある行の各値を、備蓄品登録エリアの各項目に表示する。</p>
6	修正ボタン	クリック時	<p>＜6.1 前提条件＞</p> <p>6.1.1 備蓄品一覧エリアの修正ボタンを押す。</p> <p>＜6.2 一覧修正処理＞</p> <p>6.2.1 当ボタンがある行の各値を、備蓄品登録エリアの各項目に表示する。</p>

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 4 備蓄品修正

【1】イベント 3/4

No.	項目名	トリガー	処理内容
7	削除ボタン	クリック時	
			<7.1 前提条件> 7.1.1 備蓄品一覧エリアの削除ボタンを押す。
			<7.2 一覧複写処理> 7.2.1 当ボタンがある行の各値を、削除する。
8	登録ボタン	押下時	
			<8.1 前提条件> 8.1.1 登録ボタンを押下する。
			<8.2 登録確定処理> 8.2.1 確認ダイアログを表示する。(NH0002) 「備蓄品情報を修正します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(9.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。
			8.2.2 必須入力チェック ・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。
			8.2.3 文字数チェック ・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。
			8.2.4 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。
			8.2.5 有効年月日チェック ・チェック内容は、【2】の有効年月日チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。
			8.2.6 件数0件チェック ・チェック内容は、【2】の件数0件チェックを参照。
			8.2.7 登録上限チェック ・チェック内容は、【2】の登録上限チェックを参照。
			8.2.8 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。
			8.2.9 DBに存在する表示中の備蓄品情報に対し、入力内容を上書きする。 ※追加された情報は新たにDBに登録すること。 ※上書きする情報は変更があった備蓄品情報のみとすること。
			8.2.10 完了を備蓄品詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」
			8.2.11 備蓄品詳細画面に遷移する。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 4 備蓄品修正

【1】イベント 4/4

No.	項目名	トリガー	処理内容
10	地図に戻るボタン	クリック時	
	<10.1 前提条件> 10.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<10.2 戻る処理> 10.2.1 地図画面に戻る。		
11	前に戻るボタン	クリック時	
	<11.1 前提条件> 11.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<11.2 戻る処理> 11.2.1 前画面に戻る。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 4 備蓄品修正

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	文字数チェック	テキストエリア入力項目(※4)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0018	メッセージエリア
3	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※5)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
4	属性チェック (数字)	”数字”項目(※6)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
5	有効年月日チェック	保存期間が、日付として有効であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0010	メッセージエリア
6	件数0件チェック	今回追加後の備蓄品一覧エリアの行数(ヘッダ除く)が、1行以上であること。		
		上記条件を満たさない。	EH0002	メッセージエリア
7	登録上限チェック	今回追加後の備蓄品一覧エリアの行数(ヘッダ除く)が、100行以下(※パラメータ値)であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0017	メッセージエリア
8	排他チェック	下記の条件をすべて満たしていること。 ・表示中の備蓄品一覧情報が最新であること。 ※今回新規に登録する行を除く。 ・同じ組織コード/ビルコード/会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	備蓄品一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 4 備蓄品修正

【2】チェック処理 2/2

※3 必須項目

項目名	トリガー
分類1	(登録ボタン押下)
分類2	
数量	

※4 "テキストエリア入力"項目

項目名	トリガー
備考	(登録ボタン押下)

※5 "全半角"項目

項目名	トリガー
商品名	(登録ボタン押下)
備考	

※6 "数字"項目

項目名	トリガー
数量	(登録ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【1】イベント 1/5

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 備蓄品一覧画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 CSVファイル欄の項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
2	クリアボタン	押下時	<p><2.1 前提条件></p> <p>2.1.1 クリアボタンを押下する。</p> <p><2.2 クリア処理></p> <p>2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001)</p> <p>「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル</p> <p>OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。</p> <p>キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>2.2.2 すべての入力項目を初期表示時の状態に戻す。</p> <p>2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</p>						

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【1】イベント 2/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	参照ボタン	クリック時	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 参照ボタンを押下する。</p> <p><3.2 ファイル参照処理></p> <p>3.2.1 ウィンドウズファイルダイアログを開く。 [初期設定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイアログはモーダルとし、他の操作をできなくする。 ・ファイルの手動入力是不可とする。 <p>3.2.2 ウィンドウズファイルダイアログで、インポートするCSVファイルを指定する。</p> <p>3.2.3 "開く"ボタン押下で、CSVファイル欄に指定したフォルダ名、ファイル名を表示する。</p> <p>3.2.4 "キャンセル"ボタン押下で、ウィンドウズダイアログが閉じ、CSVファイル欄は更新しない。</p> <p>3.2.5 ウィンドウズファイルダイアログを閉じて、ビルデータCSV登録画面に戻る。</p>
4	登録ボタン	クリック時	<p><4.1 前提条件></p> <p>4.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><4.2 登録確定処理></p> <p>4.2.1 確認ダイアログを表示する。(NH0001)</p> <p>「備蓄品情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル</p> <p>OK押下：次の処理(4.2.2)へ進む。</p> <p>キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>4.2.2 画面入力必須チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の画面入力必須チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.3 備蓄品CSV登録処理の二重起動有無をチェックする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の二重起動有無チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.4 ファイルの入力有無チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】のファイルの入力有無チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.5 ファイルの拡張子チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】のファイル拡張子チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【1】イベント 3/5

No.	項目名	トリガー	処理内容																	
4	<div>4.2.6 ファイル読取権限チェックを行う。<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイル読取権限チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</div> <div>4.2.7 ファイルサイズチェックを行う。<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイルサイズチェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</div> <div>4.2.8 備蓄品CSVファイルを読み、件数チェックを行う。<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイル件数チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</div> <div>4.2.9 CSVファイルを読み、各データ毎のチェック処理を全データ行い、エラーを検出した場合はエラーファイルにエラーの内容を出力する。<ul style="list-style-type: none">・エラーファイルには下記の情報を出力する。<table><tr><th>No</th><th>出力項目</th></tr><tr><td>1</td><td>エラーを検出したCSVファイルの行数</td></tr><tr><td>2</td><td>エラーを検出した項目名</td></tr><tr><td>3</td><td>エラーメッセージ</td></tr></table><div>例) 行数 :21行目 項目名 :会社名 エラーメッセージ :会社名は必須項目です。会社名を入力して下さい。</div></div> <div>4.2.9.1 ファイルレイアウトのチェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイルレイアウトチェックを参照。</div> <div>4.2.9.2 項目の必須チェックを行う<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。</div> <div>4.2.9.3 項目の文字数チェックを行う<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。</div> <div>4.2.9.4 項目の属性チェックを行う<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>4.2.9.5 項目の値チェックを行う<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の値チェックを参照。</div> <div>4.2.9.6 処理対象か判定して処理を振り分ける。<table><tr><th>項目</th><th>値</th><th>処理</th></tr><tr><td>組織名</td><td>画面選択の組織名と一致。</td><td>処理が必要。処理(4.2.9.7)へ進む。</td></tr><tr><td></td><td>上記条件を満たさない。</td><td>処理不要。次のデータを処理する。</td></tr></table></div>			No	出力項目	1	エラーを検出したCSVファイルの行数	2	エラーを検出した項目名	3	エラーメッセージ	項目	値	処理	組織名	画面選択の組織名と一致。	処理が必要。処理(4.2.9.7)へ進む。		上記条件を満たさない。	処理不要。次のデータを処理する。
No	出力項目																			
1	エラーを検出したCSVファイルの行数																			
2	エラーを検出した項目名																			
3	エラーメッセージ																			
項目	値	処理																		
組織名	画面選択の組織名と一致。	処理が必要。処理(4.2.9.7)へ進む。																		
	上記条件を満たさない。	処理不要。次のデータを処理する。																		

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【1】イベント 4/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	4.2.9.7 組織名存在チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の組織名存在チェックを参照。 4.2.9.8 会社名存在チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の会社名存在チェックを参照。 4.2.9.9 ビルデータ情報有無チェックを行う ・ チェック内容は、【2】のビルデータ情報有無チェックを参照。 4.2.9.10 分類1存在チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の分類1存在チェックを参照。 4.2.9.11 分類2存在チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の分類2存在チェックを参照。 4.2.9.12 単位存在チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の単位存在チェックを参照。 4.2.9.13 備蓄品の上限チェックを行う ・ チェック内容は、【2】の備蓄品上限チェックを参照。 4.2.10 チェック結果の判定を行う。 ・ 全てのデータがチェックOKの場合： ・ 次の処理(4.2.11)へ進む。 ・ 1つでもチェックNGの場合： ・ エラーメッセージエリアに下記情報を表示する。(EZ0001) 「 備蓄品情報の登録でエラーが発生しました。 エラー内容はエラーファイルを確認して下さい。 備蓄品情報 エラーファイル yyyyymmddhhmmss.csv 」 ・ エラーファイルを別途生成し、エラーファイルのリンクを メッセージエリアに表示する。 ・ 処理を抜ける。 4.2.11 組織コードに紐づく、備蓄品情報を全てDBから削除する。(存在しない場合も考慮) 4.2.12 備蓄品情報をDBに登録する。 4.2.12.1 処理対象か判定して処理を振り分ける。		
	項目	値	処理
	組織名	画面選択の組織名と一致。	備蓄品情報をDBに登録する。
		上記条件を満たさない。	登録不要
	4.2.13	完了をビルデータ一覧画面のメッセージエリアに表示する。(NH0007) 「 備蓄品情報を登録しました。」	
	4.2.14	備蓄品一覧画面に遷移する。	

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名

3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【1】イベント 5/5

No.	項目名	トリガー	
処理内容			
5	地図に戻るボタン	クリック時	
<5.1 前提条件>			
5.1.1 地図に戻るボタンを押す。			
<5.2 戻る処理>			
5.2.1 地図画面に戻る。			
6	前に戻るボタン	クリック時	
<6.1 前提条件>			
6.1.1 前に戻るボタンを押す。			
<6.2 戻る処理>			
6.2.1 前画面に戻る。			

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計			
機能名			
3. 1. 8 備蓄品登録			
画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録			
【2】チェック処理 1/3			
No.	名称	OKとなる条件	
		エラーの条件	エラーメッセージ 表示場所
1	画面入力必須チェック	画面入力必須項目(※4)が入力されていること。	
		上記条件を満たさない。	EA0001 メッセージエリア
2	二重起動有無チェック	他のPC、ブラウザで備蓄品CSV登録処理が行われていないこと。	
		上記条件を満たさない。	EZ0020 メッセージエリア
3	ファイルの入力有無チェック	CSVファイル名が指定されていること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0016 メッセージエリア
4	ファイル拡張子チェック	ファイルの拡張子が”csv”であること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0017 メッセージエリア
5	ファイル読取権限チェック	ファイルの読取が可能であること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0021 メッセージエリア
6	ファイルサイズチェック	ファイルサイズが1B以上、25MB(パラメータ値)であること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0018 メッセージエリア
7	ファイル件数チェック	ファイルで登録する備蓄品データ件数が70,000件(パラメータ値)以下であること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0019 メッセージエリア
8	ファイルレイアウトチェック	ヘッダーエリア②項目およびデータエリアの区切りとして”,”が1行に14個あること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0015 メッセージエリア
9	必須入力チェック	必須項目(※5)が入力されていること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0002 メッセージエリア
10	文字数チェック	項目(※6)について、入力文字数が指定文字数以下であること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0014 メッセージエリア
11	属性チェック(全半角)	”全半角”項目(※7)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。	
		上記条件を満たさない。	EZ0008 メッセージエリア

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【2】チェック処理 2/3

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
12	属性チェック (数字)	”数字”項目(※8)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0003	メッセージエリア
13	属性チェック (年月日)	”年月日”(※9)項目が日付として有効であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0010	メッセージエリア
14	値チェック	”値”(※10)項目について、値が正しいこと。		
		上記条件を満たさない。	EZ0027	メッセージエリア
15	組織名存在チェック	同じ組織名を持つ、未削除の組織マスタがDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
16	会社名存在チェック	同じ会社名を持つ、未削除の会社マスタがDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
17	ビルデータ情報存在 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ、未削除のビルデータ情報がDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0025	メッセージエリア
18	分類1存在チェック	同じ分類1を持つ、未削除の分類1マスタがDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
19	分類2存在チェック	同じ分類2を持つ、未削除の分類2マスタがDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
20	単位存在チェック	”単位”(※11)項目について、同じ単位を持つ、未削除の単位マスタがDBに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
21	備蓄品上限チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、備蓄品情報の件数が999件(パラメータ値)未満であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0028	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 CSVファイルの詳細は「5. 2 ファイル設計 5. 2. 3 備蓄品CSV」を参照のこと。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 8 備蓄品登録

画面名 3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録

【2】チェック処理 3/3

※4 必須項目(画面入力項目)

項目名	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)

※5 必須項目(ファイル内データエリア項目)

項目名	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)
ビルコード	
会社名	
分類1	
分類2	
数量	

※6 文字数チェック(ファイル内データエリア項目)

項目名	桁数	トリガー
組織名	最大50	(登録ボタン押下)
ビルコード	4	
会社名	最大50	
分類1	最大50	
分類2	最大50	
商品名	最大50	
数量	最大6	
単位	最大10	
Lot数	最大6	
Lot単位	最大10	
保存期間	10	
輸送状況	4	
備考	最大400	

※7 "全半角"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名(データエリア)	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)
会社名	
分類1	
分類2	
商品名	
単位	
Lot単位	
輸送状況	
備考	

※8 "数字"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名	トリガー
ビルコード	(登録ボタン押下)
数量	
Lot数	

※9 "年月日"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名	トリガー
保存期間	(登録ボタン押下)

※10 "値"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名	値	トリガー
輸送状況	輸送済み	(登録ボタン押下)

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計		
機能名			
3. 1. 8 備蓄品登録			
画面名	3. 1. 8. 5 備蓄品CSV登録		
※11 “単位”項目（ファイル内データエリア項目）			
項目名		トリガー	
単位		（登録ボタン押下）	
Lot単位			